

7月
参院選挙

政治は変えられる

比例は 日本共産党

この声をひろげてください

参院茨城選挙区

予定候補

大内くみ子

原発再稼働ストップ

●1949年福島県生まれ、茨城大学看護教諭養成所卒●産休明けの無認可保育所の保育士を経て25歳から水戸市議5期、茨城県議5期、あわせて地方議員40年。子どもの医療費助成や少人数学級、児童相談所の拡充などの実現の為に●現在、党中央委員、県副委員長●水戸市在住、家族は夫



消費税10%中止に

●1964年愛知県生まれ、立命館大学卒●「消費税をなくす全国の会」元事務局長●2014～17年衆議院議員（比例北関東ブロック）、国会質問60回●駅にエレベーターの設置を求める市民の会会長、保育園の拡充を求めるママ・パパネットワークなどで運動●埼玉県蕨市在住、家族は夫と二男

梅村さえこ

参院比例代表

予定候補

力あわせ、未来ひろく

97年の歴史、「ブレない党」

日本共産党を伸ばしてください

日本共産党は戦前から、「反戦平和」「国民主権」「男女平等」をかがね活動してきた日本でいちばん長い歴史をもつ政党です。

政治のゆがみただす

「財界中心」「アメリカ言いなり」という自民党政治の2つのゆがみをただす改革の立場に立ちこそ、安倍政権の暴走政治と正面から対決し、政治を変える希望を語ることができます。

「本気の共闘」にがんばる

日本共産党は、政治をよくしようという目標で一致し、一緒にやろうという個人や団体、政党とひろく力を合わせてがんばります。市民と野党が「本気の共闘」をすれば政治は必ず変えられます。



5・3憲法集会で野党代表が勢ぞろい

未来への理想かけ

日本共産党は資本主義社会が人類最後の社会であるとは考えていません。未来社会は、社会保障をはじめ資本主義時代の価値ある成果がすべて受け継がれ、豊かに発展させられます。

草の根の力に支えられ

日本共産党は草の根で国民の苦難軽減のために日々がんばっている政党です。企業献金も政党助成金も受けとらず、国民に支えられているからこそ、ブレずに国民の立場でモノをいうことができます。

「全国はひとつ」、参議院比例代表で7議席をめざします（第1次分）

 仁比 せいへい 参議院議員 【中国・四国・九州・沖縄】	 山下 よしき 党副委員長 参議院議員 【大阪・兵庫・滋賀・奈良・和歌山】	 井上 さとし 参議院議員 【東海・北陸・信越・京都】	 井上 さとし 党中央委員 参議院議員 【南関東】	 しいば 寿幸 参議院議員 【東京】	 小池 晃 党書記局長 参議院議員 【北関東】	 梅村 さえこ 前衆議院議員 参議院議員 【北海道・東北】	 紙 智子 参議院議員 【北海道・東北】
--	--	---	--	--	--	--	--

茨城民報

2019年6・7月号外 日本共産党の见解を紹介します。ご意見・ご感想をお寄せください。

発行●日本共産党茨城県委員会 〒310-0836 水戸市元吉田町2-3 電話029(247)6523 FAX029(248)3023 Eメール:jcp@ibjcp.gr.jp

制度
解説

2019年7月
参院選投票方法

比例代表は「日本共産党」政庁名を書きます。個人名でも投票できます。選挙区は「候補者の名前」



政府に東海第2原発の廃炉を求める
(右側2人目から) 梅村、大内両氏

安倍政権 終わらせて

安倍改憲を断念に追い込み
9条を生かした平和外交へ

安倍首相の憲法に自衛隊を明記するねらいは、9条2項を空文化し、海外での武力行使を無制限にすることです。いまこそ憲法9条を生かし、対話と交渉による北朝鮮問題の解決、北東アジアに、どんな紛争も話し合いで解決する平和の地域共同体をめざします。

東海第2原発の再稼働ストップ 原発ゼロの日本、 再生エネルギーへ大転換を

安倍政権がすすめていた原発輸出はすべて計画倒れに終わっています。「原発低コスト」論も政府自らの資料で否定されました。原発はもはや

ビジネスとして成り立ちません。世界の流れは再生可能エネルギー・脱炭素にかじを切っています。この道にこそ未来があります。

希望がもてる政治を

暮らしに希望を — 日本共産党3つの提案

① 8時間働けば
ふつうに暮らせる社会を

- 中小企業を支援し、最低賃金をただちに全国どこでも1000円に引き上げ、1500円をめざす。
- 保育・介護労働者に国の責任で月5万円の賃上げ。残業の上限を規制し、過労死をなくす。

② 暮らしを支える
社会保障を築く

- 公費1兆円の投入で国保税を抜本的に引き下げる。
- 子どもの医療費無料化を国の制度に。
- 「減らない年金」を実現し、底上げをはかる。

③ お金の心配なく学び、
子育てができる社会を

- 大学・専門学校授業料を半分に値下げし、段階的に無償化をはかる。月額3万円の給付奨学金制度を創設する。
- 私立高校の負担軽減をすすめる。
- 学校給食の無償化など義務教育の教育費負担をなくす。
- 「幼児教育・保育の無償化」は消費税に頼らず実施し、認可保育所の増設、保育士の処遇改善、待機児童を解消する。

財源 7.5 兆円

消費税にたよらない
「別の道」でまかなう

アベノミクスで大もつけした大企業や富裕層に応分の負担を求めます。

大企業が中小企業
なみの法人税負担
4.0 兆円

富裕層への
優遇税制を是正
3.1 兆円

米軍への「思いやり」
予算など廃止
0.4 兆円

実現可能な優れた「提案」 経済評論家 内橋 克人さん

核心をついた、かつ実現可能な、優れた政策提言だと思います。まさに日本型最低生活保障の考え方です。野党間で「提案」を共通認識にし、共同目標となることを期待しています。

(『しんぶん赤旗日曜版』5月19日号)

原発も戦争もない社会を

「東海第二原発は動かすべきではない」——県民多数の声です。福島のような事故がおれば、全国二位の茨城の農業も、日々の暮らしも再生できません。本県は、日本で最初に原発が動き、旧動燃再処理工場の火災爆発、JCOの事故もおきました。私は、安全な地域社会をつくるために、茨城から原発ゼロを発信します。原発も戦争も人間の力でなくすことができます。力を合わせましょう。



大内くみ子

参院茨城選挙区予定候補

選挙に勝利し、消費税 10% 中止に

消費税10%をこのまま実施していいのか、参院選挙の大争点です。各地の商店街を訪問しても「景気なんてさっぱりよくない」という声があふれています。政権与党から「6月の日銀短観しだいでは増税の延期もありうる」との声が出ています。あと一歩です。参院選挙で勝利し、市民の力で消費税10%中止に追い込んでいきましょう。そのために私も全力をつくします。

(5月25日・水戸での演説会)



梅村さえこ

参院比例代表予定候補